民報あばしり
NO.1339
10月31日号
発行所
日本共産党網走市委員会
網走市北八西三
TEL 四三-四四五八
F 四三-四四五七

「国会かけあるき」2021年10月日

政権交代で願い実現へ

参議院議員　岩渕友

総選挙、2日目から北海道入り。みなさんの声をお聞きしました。

はたやま和也さんとまわった函館の朝市では、「緊急事態宣言が解除されても、お客さんは戻ってこない。家賃が払えなくてやめていく人もいる。支援が必要」「このままでは、2年後、3年後に商売が続けていられるかどうか」などの声が寄せられ、持続化給付金・家賃支援給付金の再支給、消費税の減税をと話しながらのあいさつになりました。

北海道生活と健康を守る会のみなさんからは、「生活保護費を増やしてほしい」「75歳以上の医療費負担を増やさないでほしい」「子どもの医療費無料化を国が進めてほしい」などの要望が。改めて、いのちとくらしを守る選挙だと感じています。

札幌中央地区委員会内で、奮闘するみなさんのところにもうかがいました。地域で、党員や後援会員のみなさんが電話をかけたり、チラシを折ったり、活動する姿に触れて、あらゆる力を合わせて勝つ選挙だと力をいただきました。

「自公政権」対「野党共闘」が最大の争点です。どこでも政権交代で政治を変えてほしいという期待が寄せられます。みなさんから寄せていただいた願いは自公政権では実現できません。政権交代すればすぐにでも実現できる、議論を進めることができます。

政権交代を進め、共通政策を実現するためにも日本共産党を大きく。はたやま和也さんを今度こそ国会へ。最後までがんばりぬきます。

ストップの会　宣伝

選挙に行って憲法守る政府を

「ストップ戦争法網走の会」は、26日午後、駒場3・3・3通りとエコーセンター前の2ヶ所で宣伝行動を行いました。

「あの悲惨な戦争を二度とさせない」「選挙に行って平和な日本を守ろう」と市民に呼びかけました。

松浦さとし奮戦メモ！

安倍・菅政権の9年間で日本の大富豪の資産が6兆円から24兆円に4倍。一方、働く人の実質賃金は年間22万円減りました。大企業や富裕層が「分配」を独り占めしてしまい庶民には「分配」が回っていません。今朝(25日)のテレビ朝日のモーニングショーで、このことが取り上げられていましたが、先進国の中で日本だけが労働者の賃金が減少していて、大企業の内部留保がため込まれていると指摘されていました。

大企業は内部留保という貯めこみをやめて労働者に「分配」することが必要です。労働者の賃金が上がれば消費が喚起されて経済が好循環します。また、所得が1億円を超える富裕層に対して累進課税でしっかり税金を納めてもらい、大企業には法人税を28％まで戻して税金を払ってもらう。税金は公平に払うものですが、今の日本は大企業や大金持ちにやさしく、庶民には消費税の増税をはじめ負担が増えるばかりです。こんな政治は、もうゴメンです。

村ちゃんが駆ける

公共事業は、都市の基盤整備とともに防災対策の柱であり、国民の命と財産を守るためのものです。ところが、自公政権は、リニア新幹線や大都市環状線など大規模開発優先の従来型公共事業をさらに加速させようとしています。大手ゼネコンが受注し、地方の建設業者は下請けです。これでは、地方は疲弊してしまいます。

老朽化した道路や橋、公共施設の更新や長寿命化が急がれます。網走市内の生活道路の舗装はひび割れだらけですが、国の補助金が付かないなどの理由から進まずにいます。政府は大規模開発には巨額の予算が注ぎ込む一方で、地方が必要とする防災・老朽化対策の予算を切り捨てているためです。

大型開発事業は終わりにして、地方の建設業者が受注できる生活道路の更新工事や災害対策に重点を置くべきです。それを実現するためにも市は技術職員を増やして、地元の測量業者に委託し、道路や橋の点検や補修計画をつくり、住民の意見も聞き、合意の上で進めていくことが必要だと思います。

流氷

「老い」の続き、役に立たなきゃ生きちゃいかんか！この2年に及ぶコロナ禍で命の選別がおこなわれてきました。老いは圧倒的にネガティブな側面ばかりではないはずです。では、私たちはどうすれば、豊かな老いを生きることができるでしょうか。▼文明の発展により人の寿命が延びて超高齢社会となったのですから文明が引き受けるべき課題です。個人が乗り越えられるべき問題ではないのです。1970年代から高齢者の処遇の一つは社会保障が重要とされてきました。2000年に介護保険が導入され、もともと家族介護の負担軽減を意図したものが、意図せざる効果、施設志向の高まりがありました。高齢者が集まって暮らすことが本当に幸せなのか。▼そして今、日本はコスト削減のために在宅介護にシフトしようとしています。しかし、高齢者の住む家も介護を担う家族が同居していることも期待できないという現実です。▼老人たちは老いという新しい冒険に乗り出しているのです。役に立たないと絶望するのではなく、老いを老いとして引き受ければいいのです。老いを冒険しましょう!!

すみっこ